

初代宇城市長誕生

阿曾田市政がスタート！

宇城市の初代市長を決める宇城市長選挙が2月27日に執行され、即日開票の結果、阿曾田清氏が初当選しました。阿曾田市長は28日、議員や職員らが出迎える中初登庁し、宇城市政のスタートを切りました。

就任にあたって

宇城市長 阿曾田 清

2月12日のマニフェスト

具体的施策として掲げた
27日の市長選挙におき
まして、皆さまの温か

いご支持をいただき、初代の宇城市長に就任いたしました。私は、市民一人ひとりが、誇りに思える新しい宇城、市民が安らぎと幸せを実感できる



阿曾田 清（あそだ・きよし）
東京農大卒。県議4期（16年）、参院議員（5年）を経て、平成12年6月から17年2月までJA熊本うき組合長を務めた。58歳。三角町出身。

公平で自由な社会、合併した5町の均衡ある発展、さらには行財政改革を進め、組織および職員の体質改善と意識改革、情報公開で開かれた市政を実現することを約束しました。その具体的施策として12のマニフェストを掲げました。

新市建設計画を基にしたモデル新市の創造

その中から2、3の例を紹介しますと、1つはモデルとなるような新市を創造したいと考えております。合併協議会で練り上げられました「新市建設計画」を基本に据えながら、将来あるべき発展計画を提案する有識者によるモデル新市構想審議会を設置し、大所高所から幅広い意見をくみ上げ、元氣はつらつとした新市づくりを目指します。

災害の教訓を生かした安心安全な都市づくり

第2は、安心安全な都市づくりです。人間にとつて最も大事なことは安心、安全であり、何事にも代えがたいものだと思っております。宇城市を取り巻く不知火海沿岸を襲った平成11年の18号台風の高潮災害は忘れることができません。その教訓を生かしながら災害に強く、治安が安定し、予防健康の構築のために高齢者のMRI検診無料化等、地域医療や保健が充実した都市づくりを進めてまいります。



職員から花束を受け取る阿曾田市長



初登庁の日、議員や職員らに拍手で出迎えられる阿曾田市長

希望と誇りをもって宇城市の発展に



宇城市議会議長
楠田 浩

議長就任にあたりごあいさつを申し上げます。さて、去る1月25日、市制施行の初議会におきまして、不肖私が、初代議長に選ばれました。新市元年の重要な時期にあたり、議長職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

ご承知のとおり、宇城市は、3年に及ぶ5町の合併協議を経て、本年1月15日、県下で3番目の人口規模として誕生し、「人、自然、文化きらめく未来都市」に向かってスタートいたしました。

早いもので新市になって3カ月を迎えようとしています。この間「環境創造型市政を目指し、強くやさしい新市づくり」を理念とする阿曾田市長が誕生し、3月定例議会を開催、平成17年度の暫定予算、条例、人事案件等議決し、心強い新執行体制が整いました。

わが郷土宇城は、宇宙の字に城と書きますが、私たちは、日本人であり、地球人です。地球は銀河系の惑星ですが、人間より優れた生物はいません。この宇宙で一番住みやすい所「城」と言っても過言ではないかとも思ひ、何と素晴らしい地域「宇城」でしょうか。

この地域の持つ地理的条件や豊かな自然、伝統的な歴史文化を生かし、住民の誰もが安心して、生き生きとした暮らしが送れる活気に満ちた素晴らしい都市づくりに全身全霊を傾注しなければなりません。

しかしながら、三位一体改革が叫ばれる中、市財政も厳しい状況下であり、行財政の効率化を進め、将来像を見据えることが大事であります。

このような状況にありますが、農業振興をはじめ産業基盤の整備、地場企業の育成発展、住環境の整備、さらには少子・高齢化社会に向けた教育環境および福祉の充実等課題が山積しています。こうした状況を踏まえ、議会といたしましては、地方分権時代を迎えた今日、自己決定、自己責任の上に立って何が必要かを確に判断し、新市建設に向け、執行部と議論を重ねながら協調を図り、その任務を果たしてまいりたいと思っております。

私たち議員も、在任特例採用の重要性に鑑み、地域住民の負託に応え民主政治を支える重要な機関であることを再認識し、議員一丸となって住民福祉の向上に努力する覚悟であります。

今後とも、議会に対してのご指導、ご支援をお願い申し上げますとともに、市民の皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、ごあいさつといたします。

市の家計簿作成と監査法人の導入

第3は、監査法人による新市の家計簿（バランスシート）を作成し、新市の行財政の実態を明らかにするとともに、これをもとに行政経費の削減や費用対効果等を検証し、重点的施策を積極的に展開してまいります。その他農林水産業や地場産業の育成と雇用場の創出、

市長職務執行者が2月27日付で退任



2月25日に宇城市役所本庁で行われた退任式には、職員約100人が出席。松永信雄・市長職務執行者（旧小川町長）が、「合併後、大きなトラブルもなくスムーズに新市に移行できたのは皆さんのおかげです。今後も県の中核を成す市としてより一層の努力をしてください」とあいさつ。職員から花束を受け取った松永市長職務執行者は、大きな拍手で見送られながら市役所を後にしました。

子育て支援、男女共同参画社会の実現など課題は山積しておりますが、これまで国政に携わった政治家として、また、農協長として築き上げました人脈、経験を生かしながら、真つ向から市政の舵取りを進めてまいりたいと考えておりますので、皆さま方のご支援、ご指導をお願い申し上げます。ごあいさつといたします。